平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月15日

上場会社名　株式会社 マミーマート　　上場取引所　大
コード番号　9823　URL　http://www.mammymart.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩崎　裕文
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長　(氏名) 小野原　秀次　TEL 048-654-2514

四半期報告書提出予定日　平成25年5月15日　配当支払開始予定日　平成25年6月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	42,243	4.5	357	△72.6	547	△63.3	325	△53.8
24年9月期第2四半期	40,432	△7.7	1,308	4.8	1,490	2.7	705	0.8

(注)包括利益　25年9月期第2四半期　430百万円　(△39.7%)　24年9月期第2四半期　714百万円　(△0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	30.16	―
24年9月期第2四半期	65.33	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	39,645	19,181	48.3
24年9月期	37,227	18,843	50.6

(参考) 自己資本　25年9月期第2四半期　19,163百万円　24年9月期　18,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	8.50	―	8.50	17.00
25年9月期	―	8.50			
25年9月期(予想)			―	8.50	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,800	5.7	800	△57.1	1,100	△50.9	600	△20.9	55.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	10,796,793 株	24年9月期	10,796,793 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	1,467 株	24年9月期	1,438 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	10,795,346 株	24年9月期2Q	10,795,419 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の積極的な経済政策に期待感が高まり、円高の是正、株高の進行等、景気回復も見られる状況となりました。

スーパーマーケット業界におきましては、国際価格の上昇や円安が進んだことによる小麦などの原材料費の値上げ圧力が強まりつつあり、一方で、雇用・所得環境の回復は遅々とする中、電力料金の値上げの実施等による消費者の生活防衛意識に根差す節約志向が一層の高まりを見せ、低価格競争が益々激化し、また生産地表示等にも神経質な品質・品揃え等消費者ニーズの多様化、高度化への対応も従来以上に求められるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような情勢の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、「ディスティネーション・ストアの構築」を営業スローガンとして、これまで以上にお客様の立場に立った商品政策や売場展開、お客様に信頼される接客に努め、お客様視点での魅力ある店舗づくりを強力に推進してまいりました。

営業面におきましては、徹底したコストダウンによる低価格戦略の推進、顧客ニーズに対応した良質で割安感のある品揃えを実現するためディスティネーション商品（お客様がその商品を目指してご来店いただける商品）の開発等を実施してまいりました。

環境活動におきましては、電気使用量の見える化システムによる厳格な電気使用量管理の実施等これまでの環境対策に加え、店舗照明のＬＥＤ化推進、ペットボトルや古紙の新たな店頭回収・リサイクルシステム（マミーマートリサイクルステーション）を７店舗で試験的に導入する等を実施してまいりました。

店舗展開におきましては、平成24年11月埼玉県川越市に「生鮮市場ＴＯＰ川越店」、12月埼玉県さいたま市岩槻区に「岩槻府内店」、平成25年２月埼玉県白岡市に「白岡西店」、３月千葉県柏市に「柏根戸店」をオープンするとともに既存の岩槻店の改装をいたしました。また、２月に「岩槻城南店」を閉店しました。したがって、当第２四半期連結累計期間末の店舗数は、温浴事業を含め65店舗となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高42,243百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益357百万円（同72.6%減）、経常利益547百万円（同63.3%減）、四半期純利益325百万円（同53.8%減）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

［スーパーマーケット事業］

当第２四半期連結累計期間は、売上高41,897百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益343百万円（同73.4%減）となりました。

［その他の事業］

売上高346百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益14百万円（同3.9%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,418百万円増加し39,645百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う固定資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より2,079百万円増加し20,463百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う資金調達として長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より338百万円増加し19,181百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,763百万円（前連結会計年度末比46百万円の増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は334百万円（前年同四半期は4,875百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は3,033百万円（前年同四半期は558百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は2,745百万円（前年同四半期は343百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月14日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途発表する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成24年11月14日に発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

［連結業績予想］通期（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	86,800	1,500	1,650	850	78円74銭
今回修正予想（B）	84,800	800	1,100	600	55円57銭
増減額（B－A）	△2,000	△700	△550	△250	―
増減率（%）	△2.3	△46.7	△33.3	△29.4	―
（ご参考）前期実績（平成24年９月期）	80,254	1,863	2,241	758	70円25銭

なお、上記の連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績予想は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,716	2,363
売掛金	46	29
有価証券	－	1,400
商品	1,659	1,701
貯蔵品	11	9
繰延税金資産	749	749
その他	1,339	1,430
流動資産合計	7,523	7,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,682	9,644
機械装置及び運搬具（純額）	488	425
土地	8,652	8,672
建設仮勘定	1,063	863
その他（純額）	1,202	1,689
有形固定資産合計	19,089	21,295
無形固定資産	353	305
投資その他の資産		
投資有価証券	264	367
長期貸付金	473	451
差入保証金	7,268	7,248
賃貸不動産（純額）	373	373
繰延税金資産	1,162	1,161
その他	787	805
貸倒引当金	△68	△48
投資その他の資産合計	10,261	10,360
固定資産合計	29,704	31,961
資産合計	37,227	39,645

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,842	8,122
短期借入金	150	150
1年内返済予定の長期借入金	847	1,368
未払費用	1,985	1,519
未払法人税等	711	347
ポイント引当金	634	646
賞与引当金	382	364
その他	795	642
流動負債合計	13,348	13,160
固定負債		
長期借入金	1,256	3,560
長期預り保証金	1,573	1,559
転貸損失引当金	203	171
退職給付引当金	825	853
役員退職慰労引当金	700	698
資産除去債務	456	441
その他	19	18
固定負債合計	5,035	7,303
負債合計	18,384	20,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,856	2,856
利益剰余金	13,330	13,564
自己株式	△1	△1
株主資本合計	18,844	19,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	84
その他の包括利益累計額合計	△18	84
少数株主持分	16	18
純資産合計	18,843	19,181
負債純資産合計	37,227	39,645

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	40,432	42,243
売上原価	30,518	32,176
売上総利益	9,914	10,066
営業収入	581	622
営業総利益	10,495	10,688
販売費及び一般管理費	9,187	10,331
営業利益	1,308	357
営業外収益		
受取利息	24	29
受取配当金	2	2
受取賃貸料	31	15
受取手数料	78	75
協力金収入	－	48
その他	64	46
営業外収益合計	201	217
営業外費用		
支払利息	12	13
その他	6	14
営業外費用合計	19	27
経常利益	1,490	547
特別利益		
固定資産売却益	－	92
貸倒引当金戻入額	－	20
役員退職慰労引当金戻入額	－	28
その他	－	14
特別利益合計	－	155
特別損失		
固定資産除却損	14	9
賃貸借契約解約損	－	80
特別損失合計	14	90
税金等調整前四半期純利益	1,475	611
法人税等合計	768	283
少数株主損益調整前四半期純利益	707	328
少数株主利益	1	2
四半期純利益	705	325

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	707	328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	102
その他の包括利益合計	7	102
四半期包括利益	714	430
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	712	428
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,475	611
減価償却費	631	898
賃貸借契約解約損	－	80
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	21	27
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	25	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△16	△18
受取利息及び受取配当金	△27	△31
支払利息	12	13
固定資産売却損益（△は益）	－	△92
固定資産除却損	14	9
売上債権の増減額（△は増加）	24	16
たな卸資産の増減額（△は増加）	△49	△39
未収入金の増減額（△は増加）	△305	△87
仕入債務の増減額（△は減少）	3,479	279
未払費用の増減額（△は減少）	105	△466
その他	△159	△217
小計	5,233	961
利息及び配当金の受取額	6	4
利息の支払額	△9	△10
法人税等の支払額	△355	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,875	334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
無形固定資産の取得による支出	△29	△0
有形固定資産の取得による支出	△505	△3,141
有形固定資産の売却による収入	－	177
差入保証金の差入による支出	△260	△377
差入保証金の回収による収入	299	298
その他	△12	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△558	△3,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	49	－
長期借入れによる収入	100	3,300
長期借入金の返済による支出	△400	△462
配当金の支払額	△91	△91
その他	－	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343	2,745
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,973	46
現金及び現金同等物の期首残高	2,081	3,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,054	3,763

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成24年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注１）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	スーパーマーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	40,081	350	40,432	－	40,432
セグメント間の内部売上高または振替高	2	－	2	△2	－
計	40,083	350	40,434	△2	40,432
セグメント利益または損失（△）	1,293	15	1,308	－	1,308

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注１）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	スーパーマーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	41,897	346	42,243	－	42,243
セグメント間の内部売上高または振替高	2	0	2	△2	－
計	41,899	346	42,245	△2	42,243
セグメント利益	343	14	357	－	357

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。